

京築神楽

九州国立博物館公演



日本一の

京築
神楽の里

2010

9/4 11:00~ 観覧無料
[土]



九州国立博物館1階ミュージアムホール

主催 ● 京築連帯アメニティ都市圏推進会議 (行橋市・豊前市・苅田町・みやこ町・吉富町・上毛町・築上町・福岡県)、京築神楽の里づくり推進協議会
後援 ● 九州国立博物館

お問い合わせ ● 京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局 (福岡県広域地域振興課) TEL092-643-3178

タイトル揮毫 「京築 神楽の里」:福岡県立青豊高等学校三年 竹本 航さん 「京築神楽」:福岡県立青豊高等学校三年 中井 優さん

日本一の

京築

神楽の里

京築神楽

九州国立博物館公演

2010 9/4 [土] 11:00~ 観覧無料

九州国立博物館1階ミュージアムホール
福岡県太宰府市石坂4丁目

公演時間

- 11:00~
- 11:30~
- 12:00~
- 13:00~
- 13:30~
- 14:00~
- 14:30~



■京築神楽公演スケジュール

2010年10月9日(土) [福岡市]
京築フェスタ(天神中央公園)

2010年10月31日(日) [豊前市]
京築神楽と食の祭典シンボルイベント

2011年1月29日(土) [北九州市]
京築神楽・北九州空港公演

演目、公演時間などについては
「京築まるごとナビ」
をご覧ください。

京築地区の情報発信サイト「京築まるごとナビ」公開中!

京築まるごとナビ

<http://keichiku.info/>

■交通アクセス

【西鉄電車】西鉄太宰府駅から徒歩約10分

【JR】JR二日市駅から西鉄二日市駅
(徒歩約10分・バス約5分)

西鉄二日市駅からは太宰府線利用

【タクシー】JR二日市駅から約15分

公演予定団体

道場寺神楽講 (行橋市)

明治初期に築城町赤幡地区の神楽講の指導により習得し現在に継承されている。終戦時の動乱期においては後継者不足が深刻となり、当時の責任者であった泉実雄氏の発案で50歳前後の主婦に協力を要請。以後、途絶えることなく現在に引き継がれている。行橋市内裳島神社には、毎年秋の大祭に2日間にわたり奉納に参加している。

岩屋神楽講 (豊前市)

岩屋神楽は、昭和3年に行われた昭和天皇の即位式の記念行事に向け、地域の人たちが神楽講を結成したのが始まりである。岩屋神楽講は講員の門戸を拡げ、大分県耶馬溪の同士を講員として迎え、両地区内神社での神楽の奉納を通して互いに協力し、地域の活性化と復興、伝統文化の発展に成果をあげている。

南原神楽講 (郊田町)

宇原神社に残る文献によると、明治時代の中期に築上郡築城町赤幡から伝えられたものであったが、昭和37年の奉納を最後に途絶え、奉楽が一部のみ現存していた。文献をもとにみやこ町犀川の扇谷神楽講の指導により平成15年に復興された。現在では社中各位の努力と扇谷神楽講員の熱心な指導により赤幡系33番全てを奉納できるまでになっている。

横瀬神楽保存会 (みやこ町)

横瀬神楽は、大正14年、上伊良原の舞の名人により始まったとされている。当時の神楽講は、大変な盛り上がりを見せ、約40年もの間、春の神幸祭に奉納されていた。その後、後継者不足で数年間は中断させていたが、昭和46年に「村おこし」の発想から数名の若者が神楽を復活させ、現在へと続いている。

吉富神楽 (吉富町)

吉富神楽は、神楽好きの若者が集い、6年間の修練を経て、平成11年に旗揚げした。舞は上毛町の成恒神楽の流れをくみ、勇壮で激しい舞となっており、日々修練を重ねて、秋祭での奉納舞をはじめ、各種イベント、結婚式での舞など、精力的に活動している。

成恒神楽保存会 (上毛町)

豊前岩戸神楽の流れをくむ成恒神楽は、明治時代中期に始まったといわれている。昭和10年頃まで活動を続けていたが、舞手不足により一時中断した。その後昭和55年、地元の若者たちが現在の成恒神楽保存会をつくり復活させた。

岩丸神楽講 (築上町)

平安時代、白河天皇の頃、この地区に大干ばつがあり、そのときに神楽を奉納したのが始まりだと伝えられている。明治時代から昭和にかけては、中断と復活をくり返していたが、戦後の昭和21年春に地元の若者たちが再び神楽講をおこし、現在に至っている。